様式第2号

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（基本情報）

604　　令和　８年　６月　１日現在

①	ふりがな 氏名	みたに　はるき 三谷　晴基
④	所属先	所属先名称：NPO法人SMILE北海道 役職名：理事長
⑥	専門分野 ※該当に✓を記入	☑ 捕獲手法　☐ 侵入防止技術　☐ 周辺環境整備　☐ 地域合意形成　☐ データに基づく計画立案 ☑ 野生動物管理（生息調査含む）　☐ ICT機器の活用（捕獲通知等）　☐ 処理（焼却・減容化） ☑ その他（捕獲後の電気止めさし手法・解体処理技術）
⑦	対象鳥獣 ※該当に✓を記入	☑ シカ　☐ イノシシ　☐ サル　☑ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☐ ハクビシン　☐ アライグマ　☐ アナグマ ☐ カラス　☐ カモ　☐ ヒヨドリ　☐ スズメ　☐ ムクドリ ☐ その他鳥獣（　　）
⑧	対応可能地域 ※該当に✓を記入	☑ 全国　☐ 北海道　☐ 東北　☐ 関東　☐ 北陸　☐ 東海 ☐ 近畿　☐ 中国　☐ 四国　☐ 九州　☐ 沖縄 ☐ その他※特定の都道府県、地域（
⑨	免許、資格及び登録状況 ※該当に✓を記入	☑ 狩猟免許　（ 銃：取得年 H　7　年　、　わな：R　2　年 ） ☐ 鳥獣プロデータバンク　（☐ 鳥獣保護管理プランナー　☐ 鳥獣保護管理捕獲コーディネーター　☐ 鳥獣保護管理調査コーディネーター） ☐ 鳥獣管理士（　　）級 ☐ ジビエ利活用コーディネーター ☐ その他（　　）

様式第2号

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（活動実績）

604　　令和　８年　６月　１日現在

⑫活動実績	
地域	北海道樺戸郡新十津川町及び周辺市町村
対策の種類 ※該当に✓を記入	☑ 捕獲手法　☐ 侵入防止技術　☐ 周辺環境整備　☐ 地域合意形成　☐ データに基づく計画立案 ☑ 野生動物管理（生息調査含む）　☐ ICT機器の活用（捕獲通知等）　☐ 処理（焼却・減容化） ☑ その他（捕獲後の電気止めさし手法・解体処理技術）
対象獣種 ※該当に✓を記入	☑ シカ　☐ イノシシ　☐ サル　☑ クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ☐ ハクビシン　☐ アライグマ　☐ アナグマ ☐ カラス　☐ カモ　☐ ヒヨドリ　☐ スズメ　☐ ムクドリ ☐ その他鳥獣（　　）
活動の内容	（１）野生鳥獣の生態・行動に関する高度な知識 ・エゾシカおよびヒグマの行動圏・移動ルートの調査経験 ・捕獲個体データ（体重・性別・年齢等）の継続的収集 ・ヒグマ捕獲個体の処理フローおよび利活用の整理 （２）農作物被害防止対策に関する豊富な実務経験 ・エゾシカ捕獲実績：2025年196頭、2024年164頭 ・NPO法人としての捕獲実績：2025年100頭 ・銃器によるヒグマ捕獲実績：12頭（全道） ・ヒグマ電気止めさし実績：2024年10頭、2025年12頭（新十津川町） ・シカ食肉処理場での処理実績：累計3,000頭以上 ・クマ食肉処理場での実績：累計200頭 以上 ・新十津川町、北竜町、増毛町のクマ捕獲個体における有効活用（食肉・皮革） （３）行政・関係機関との連携実績 ・新十津川町、滝川市、北竜町、増毛町との協同による捕獲・処理体制の改善 銃器による止めさしが困難な場所における箱罠捕獲個体の電気止めさし従事者として依頼を受けている ・新十津川町鳥獣被害対策協議会との共催による研修会（電気止めさしセミナー）の実施 （2025年10月23日、参加者30名、空知管内行政職員ほか根室市・名寄市・赤井川村等） セミナーの概要 ・電気止めさし器具の紹介 ・新十津川町における野生鳥獣被害対策の現状 ・ヒグマ電気止めさしの概要説明 ・ヒグマ電気止めさしの動画視聴 ・ヒグマ電気止めさし実施における注意点と要点 ・箱罠設置時の誘引用餌の注意点 緊急銃猟の問題点ヒグマ対応に関する安全管理、止めさし技術、行政課題を包括的に解説し、 地域の担い手育成および捕獲体制の強化に寄与した。 （４）担い手育成・普及啓発への貢献 ・ヒグマ電気止めさし、安全管理、誘引用餌の注意点等を体系的に指導 ・若手育成モデル（協力隊活用）の設計 ・地域の捕獲体制強化に寄与 （５）地域の課題に即した先進的取り組み ・クマの市街地への出没に対するドローン活用の検討会への参加 ・春グマ対策におけるドローン活用の実証計画を町・猟友会・KDDIと連携して立案 ・スノーモービル2台を活用した捕獲・搬出体制の構築 ・ヒグマの箱罠捕獲における電気止めさし器材の研究・開発